使用説明書

ご使用の前に必ずこの「使用説明書」をお読みの上、正しくお使いください。
本書をすぐに利用できるように保管してください。

はじめに

このたびはリコーデジタルカメラをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。本書は、本製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。本製品の機能を十分にご活用いただくため、ご使用の前に、本書を最後までお読みください。本書が必要になったとき、直ぐに利用できるよう、お読みになった後は、必ず保管してください。

株式会社リコー

テスト撮影について

必ず事前にテスト撮影をして正常に記録されていることを確認してください。

著作権について

著作権の目的になっている書籍、雑誌、音楽等の著作物は、個人的または家庭内およびこれに準ずる限られた範囲内で使用する以外、著作者に無断で複写、改変等することは禁じられています。

ご使用に際して

万一、デジタルカメラなどの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書について

このデジタルカメラは国内仕様です。保証書は日本国内において有効です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

電波障害について

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

・テレビやラジオなどからできるだけ離す
・テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える
・コンセントを別にする

〈電波障害自主規制について〉

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

・本書の一部または全部を無断転載することを禁止します。
©1999 RICOH CO.,LTD.
・本書の内容に関しては将来予告なく変更することがあります。
・本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きのことがありましたら、巻末をご覧の上ご連絡ください。

Microsoft、MS、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Macintoshは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
会社名、および製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

このカメラでできること

● 230 万画素、コンパクトタイプのカメラです

230万画素CCD使用により、コンパクトタイプのカメラで高画質、高解像度（1792 × 1200）を実現。軽量のため持ち運びに便利で、撮影シーンを選びません。

●すぐに記録できます

レリーズボタンを押すだけの簡単操作です。撮影した画像（ファイル）は、内蔵メモリー（８ MB）またはスマートメディア（2/4/8/16/32MB）に記録できます。

＊メモリー内蔵のため、スマートメディアの入れ忘れで撮影できないといったことがありません。

●その場ですぐに確認できます

記録したファイルは、再生モードに切り替えるだけで、その場で確認できます。拡大表示（ズーム再生）したり、一度に複数のファイル（６画面表示）を見ることができます。

＊スマートメディアを利用して、友達と撮影画像を交換できます。

●大量撮影ができます

画質を優先したＦモードや記録枚数を優先したＥモードなど、用途に合わせて切り替えができます。

●広範囲を撮影できます

2.3 倍ズームレンズ付きのため、被写体のアップや背景を入れた広範囲の撮影など、いろいろな構図で撮影できます。

●自然の色合いで撮影できます

ホワイトバランス機能により、屋外や室内など、どんな光源の下でも被写体を自然の色合いで撮影できます。

●クローズアップで撮影できます

被写体に近づいて（約 4cm まで）[*1] クローズアップで撮影できます。マクロ撮影（接写）といい、花や小物などの撮影に最適です。

＊1：レンズを広角側（[ ]）にした場合

●テレビでもモニターできます

付属のビデオ接続ケーブルを接続すると、記録したファイルをテレビで再生できます。また、ビデオデッキやビデオプリンターに接続すると、ビデオテープにダビングしたり、フルカラープリントが可能です。

●パソコンに転送できます

本機に対応したソフトウェアを利用して、パソコンにファイルを転送できます。パソコンに取り込んだファイルは、カラープリンターやカラー複写機でプリントすることができます。

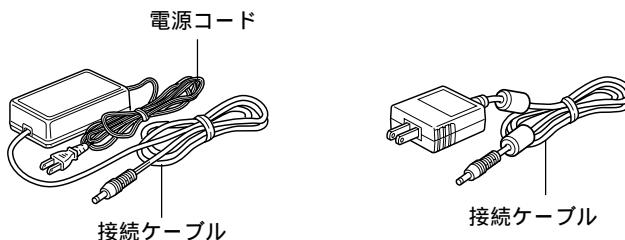
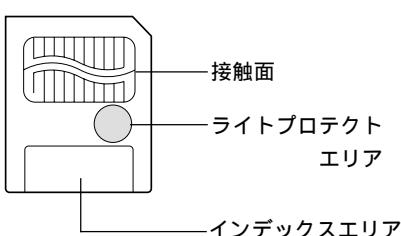
各部の名称

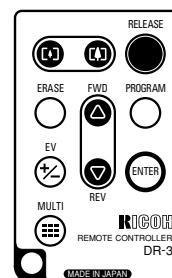
■カメラ本体

モードダイヤル..P.41
PICボタン..P.43
セルフタイマーボタン..P.67
フラッシュボタン..P.55
CARD/INボタン..P.42
レリーズボタン..P.48
（シャッターボタン）
液晶パネル
フラッシュ発光部..P.55
セルフタイマー
ランプ..P.67
RICOH
レンズ
フラッシュセンサー受光窓
リモコン受信部
（背面）
フラッシュランプ..P.49
オートフォーカスランプ..P.48
ファインダー
液晶モニター
ズームボタン..P.45
カードカバー..P.31
スマートメディアを
セットします。
電源スイッチ..P.41
スライドさせると
電源が入り、再び
スライドさせると
電源が切れます。
端子カバー
DISPLAY
MENU
ENTER
ENTERボタン
MENUボタン
DISPLAYボタン
ビデオ入出力
スイッチ..P.81
IN
OUT
VIDEO
リセット
ボタン..P.6
RS232C/AUX端子
（USBケーブル接続可能）
電源（DC入力）端子..P.29
ビデオ入出力端子..P.81

（底面）

■ AC アダプター（別売り）

・AC-2（100V ～ 240V）　　・AC-2100（100V）

■スマートメディア（別売り）

■リモコン（別売り）

・DR-3

情報表示について

液晶モニターや液晶パネルには、電池の状態や記録可能枚数、設定されているモードなど、カメラの状態をマークや数字で表示します。

液晶モニター

■記録時の表示

赤目モード..P.72

フラッシュ表示..P.55
・発光禁止モード（）
・強制発光モード（）
・スローシンクロモード（：点滅）
・オートモード（A）

記録モード..P.44、52
・画像モード（）
・文字モード（A）
・連写モード（）

マニュアルフォーカス表示..P.70

ズーム バー..P.45

露出補正値..P.60

メッセージの表示

日付・時間表示..P.34

ホワイトバランス表示...P.62
・オート（表示マークはない）
・屋外モード（）
・曇天モード（）
・白熱灯モード（）
・蛍光灯モード（）

記録先..P.42
・内蔵メモリー（IN）
・スマートメディア（CARD）

記録情報表示
残り記録枚数を表示します。

画質モード..P.43
・1800×1200/900×600
ファインモード（**F**）
・1800×1200/900×600
ノーマルモード（**N**）
・1800×1200/900×600
エコノミーモード（**E**）

電池マーク..P.5、28

セルフタイマー..P.67

MF
T
W
IN 12
1800×1200 N
日付を設定
してください
EV+0.5 1999／05／15 10:12

■再生時の表示

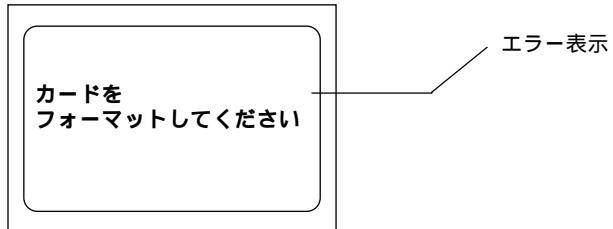
- この図では、全ての情報を表示していますが、実際には必要な情報だけが表示されます。
- 電源を入れた状態で、約5分以上カメラの操作（ボタンやスイッチなどの操作）をせずに放置しておくと、節電のため「オートパワーオフ」になり電源が切れます。再びお使いになるときは、電源を再投入してください。
- オートパワーオフの設定を変更することもできます。→ P. 105
- AC アダプター使用時は、「オートパワーオフ」は機能しません。

■警告表示と内容

次のような警告表示が液晶モニターに表示されたときは、内容をご確認の上、対処してください。

警告表示	状態	内　　容	参照ページ
	点灯	カメラ本体の電池の消耗を表しています。予備の電池を用意してください。	P.25
カードをいれてください	点滅	スマートメディアがセットされていませんでした。スマートメディアをセットしてください。	P.31
ライトプロテクトされています	点滅	ライトプロテクトされたスマートメディアがセットされています。ライトプロテクトシールをはがして使用してください。	P.30
プロテクトファイルです	点滅	消去しようとしているファイルにプロテクトが設定されています。プロテクトを解除してから消去してください。	P.88
画像がありません	点灯	再生できるファイルがありません。 記録済みのスマートメディアをセットしてくだい。	P.31
UNMATCHED FILE	点滅	再生できないファイルを選択しました。	P.83
FILE NUMBER OVER	点滅	これ以上記録することはできません。内蔵メモリーをフォーマットしてから記録するか、新しいスマートメディアをセットして記録してください。	P.31 P.109
日付を設定してください	点滅	日付が設定されていません。操作する前に日付を設定してください。	P.34

■エラー表示と内容

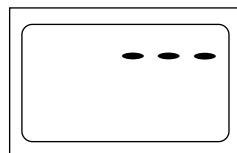
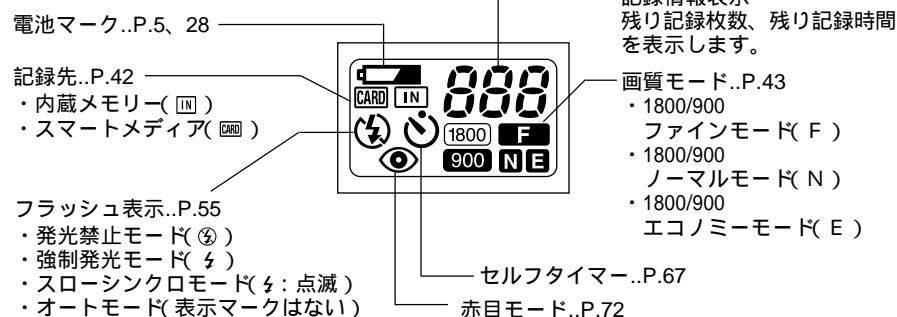
次のようなエラー表示が液晶モニターに表示されたときは、内容をご確認の上、対処してください。

エラー表示	内　　容	参照ページ
カードをフォーマットしてください	スマートメディアがフォーマットされていません。このカメラでフォーマットしてから使用してください。	P.32
内蔵メモリーをフォーマットしてください	内蔵メモリーをフォーマットしてから使用してください。	P.109
カードエラー使えません	このカメラで使用できないスマートメディアです。	―

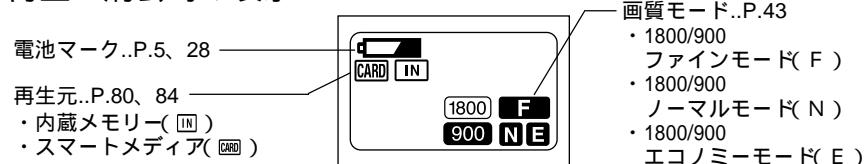
・エラー表示が消えないときは、次の方法でリセットしてください。工場出荷時の設定に戻ります。
〈リセットの方法〉：端子カバーを開き、リセットボタンを押します。

・上記の処理を行っても改善されない場合は、お買い上げ店またはサービス窓口までご連絡ください。

液晶パネル

■初期設定時の表示（SET UP モード時）

液晶パネルの表示はありません。

■記録時の表示

補足 ・記録情報表示は、1000枚以上の場合に100の位をL（ローマ字）で表示します。
・画質モードは、デジタルズームで撮影する場合、画質モードはF、N、Eのみ表示されます。

■再生／消去時の表示

補足 ・デジタルカメラDC-3Z／DC-4シリーズ（リコー製）や他社機など、本機以外で撮影されたファイルは、CARDまたはINのみ表示されます。
・「分割再生（再生時）」または「選択消去（消去時）」の機能を利用している場合、画質モードは表示されません。

■通信時の表示（通信モード）

・RS232Cケーブル接続時

液晶モニターには「接続待ち」と表示されます。

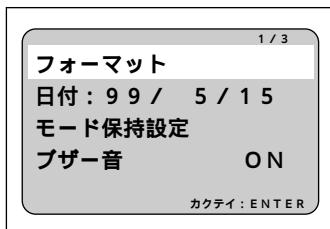
・USBケーブル接続時

液晶モニターには何も表示されません。

メニュー画面について

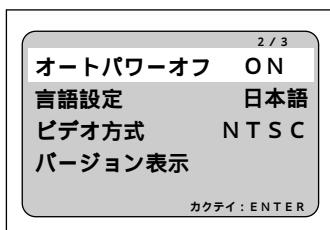
このカメラには、次のメニュー画面があります。ファイルを記録、再生、消去するとき、各項目の設定や変更などを行うことができます。

■ SET UP メニュー

電源が入っている状態で、モードダイヤルを［SETUP］に合わせます。SET UP メニューを終了するときは、モードダイヤルを回して他のモードに切り替えます。

フォーマット ..... 内蔵メモリーまたはスマートメディアをフォーマットします（プロテクトしたファイルも消去します）。..P.32、109

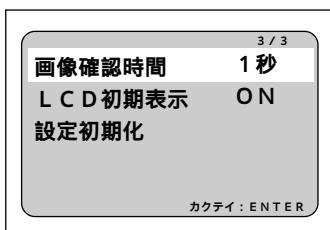
日付 .... 日付・時刻を設定します。..P.34

モード保持設定 ... カメラの設定内容を記憶します。..P.108

ブザー音 .... ブザー音を鳴らすかどうかを切り替えます。..P.104

オートパワーオフ .... ５分以上何も操作しないとき、オートパワーオフを行うかどうかを切り替えます。..P.105

言語設定 .... 液晶モニターの表示を日本語表示または英語表示に切り替えます。..P.106

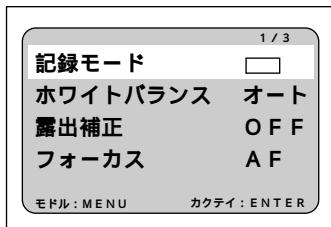
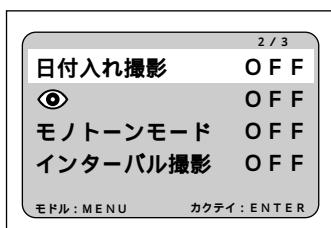
ビデオ方式 .... カメラをテレビに接続するとき、NTSCまたはPALに切り替えます。..P.107

バージョン表示 ... 現在のカメラのバージョンを表示します。..P.110

画像確認時間 ..... 撮影後の画像確認の時間を設定します。..P.111

LCD初期表示 ..... 記録モードのとき、電源投入時に液晶モニターの画面表示を行うかどうかを切り替えます。..P.112

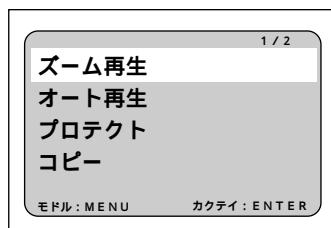
設定初期化 .... 設定内容を初期状態に戻します。..P.113

■記録メニュー

電源が入っている状態でモードダイヤルを［ ］に合わせ、MENU ボタンを押します。記録メニューを終了するときは、再び MENU ボタンを押します。

記録モード .... 画像や文字、連写など、記録モードを切り替えます。..P.52
ホワイトバランス .. ホワイトバランスを切り替えます。..P.62
露出補正 .... 露出補正を設定します。..P.60
フォーカス .... オートフォーカスとマニュアルフォーカスを切り替えます。..P.70

日付入れ撮影 ..... 日付を入れて撮影します。..P.71
赤目モード .... フラッシュ撮影時の赤目を軽減して撮影します。..P.72
モノトーンモード .. 白黒またはセピアで撮影します。..P.73
インターバル撮影 .. インターバル撮影を設定します。..P.74

Sモード .... 暗いときにシャッタースピードを速くなるように設定します。.P.77

■再生メニュー

電源が入っている状態でモードダイヤルを［ ］に合わせ、MENUボタンを押します。再生メニューを終了するときは、再び MENU ボタンを押します。

ズーム再生 ...... 画像を拡大して表示します..P.86
オート再生 .... すべての画像を設定した時間内に自動で再生します。..P.87
プロテクト ...... 消去できないようファイルをプロテクトします。..P.88
コピー .... 撮影したファイルを内蔵メモリーからスマートメディアに、またはスマートメディアから内蔵メモリーにコピーします。..P.90

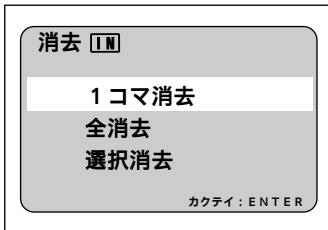
▲ 2／2
フォルダー選択
ＤＰＯＦ設定
モドル：MENU　カクテイ：ENTER

フォルダー選択 ... 他社のデジタルカメラで撮影したファイルを再生します。..P.89

DPOF設定 .... 撮影したファイルをプリントサービスで出力するときに設定します。..P.92

■消去メニュー

電源が入っている状態で、モードダイヤルを［］に合わせます。消去メニューを終了するときは、モードダイヤルを回して他のモードに切り替えます。

消去 IN
１コマ消去
全消去
選択消去
カクテイ：ENTER

１コマ消去 ...... 指定したファイルを１コマずつ消去します（プロテクトしたファイルは消去できません）。..P.97

全消去 .... 記録したすべてのファイルを消去します（プロテクトしたファイルは消去できません）。..P.98

選択消去 .... 記録したファイルを複数選択して消去します（プロテクトしたファイルは消去できません）。..P.99

・モードダイヤルの［PC］は、記録したファイルをパソコンで使用するときに使います。詳しくは、本機対応のパソコン接続キット（Win/Mac用）（PK-5 ＜別売り＞）の使用説明書をご覧ください。

目次

第1章　準備

第2章　基本撮影

第3章　応用撮影

第4章　再生／消去

第5章　その他

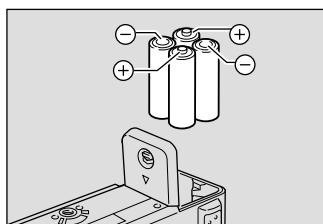
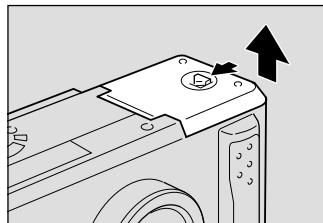
基本操作・早わかり

ここでは、操作概要を説明しています。詳しくは、記載の参照ページをご覧ください。

準備する

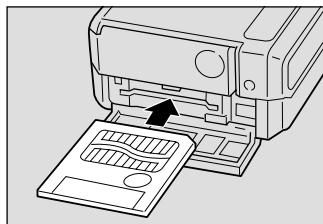
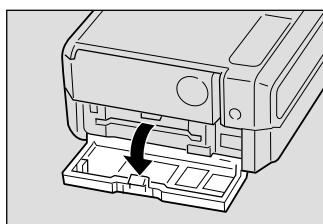
電源を準備する →P.25〜29

❶カメラ本体に電池をセットします。

＊ACアダプターを使用するときは、カメラ本体にACアダプターを接続し、コンセントから電源をとります。→P.28

スマートメディアをセットする →P.31〜32

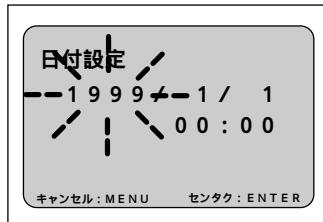
❶電源が切れていることを確認します。

❷カードカバーを開き、スマートメディアをセットします。

＊新しいスマートメディアを使用するときは、必ずカメラでスマートメディアのフォーマット（初期化）を行ってください。→P.32

日付・時刻を合わせる →P.34～36

❶電源スイッチをスライドし、モードダイヤルを［SETUP］に合わせます。

❷▼ボタンや▲ボタンを押して、［日付］を選びます。
❸DISPLAYボタンを押して表示方法を選びます。
❹ENTERボタンを押します。

❺▼ボタンや▲ボタンを押して、点滅している数字を変更します。
❻ENTERボタンを押します。
手順❺、❻を繰り返して修正します。
＊ENTERボタンを押すたびに、年から月→日→時→分の順番で点滅します。
❼分を合わせたあと、ENTERボタンを押します。

撮影する

撮影する（基本的な撮影） →P.40～49

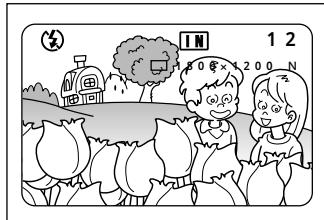
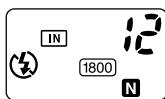
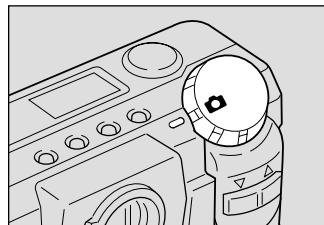
❶電源スイッチをスライドし、モードダイヤルを［ 📷 ］にします。

❷CARD/INボタンを押して記録先を選択します。

❸PICボタンを押して画質モードを選択します。

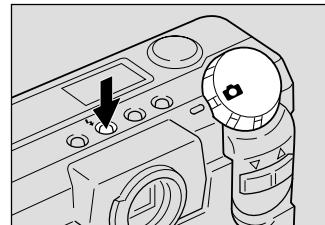
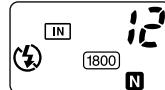
❹記録モードを選択します。
①MENUボタンで記録メニューを表示し、［記録モード］を選びます。
②ENTERボタンで記録モードを選び、MENUボタンを押して表示を戻します。

❺▼（[▪]）ボタンや▲（[▲]）ボタンを押して被写体の大きさを決めます。
＊ファインダーや液晶モニターを見ながら、被写体の位置を確認してください。

❻レリーズボタンを押して撮影します。

フラッシュモードを変更する →P.55〜59

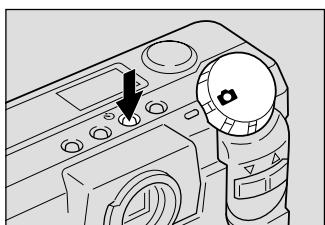
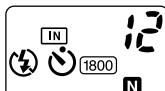
❶**モードダイヤルを［ 📷 ］に合わせます。**

❷**フラッシュボタンを押してフラッシュモードを選択します。**
発光禁止（⚡︎）、オート（⚡A）、強制発光（⚡）、スローシンクロ（ ⚡：点滅）から選びます。
液晶モニターや液晶パネルに選択したマークが表示されます。

❸**レリーズボタンを押して撮影します。**

セルフタイマーを使う →P.67〜68

❶**モードダイヤルを［📷］に合わせます。**

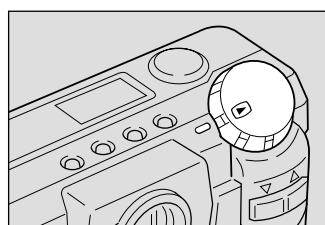
❷**セルフタイマーボタンを押します。**
セルフタイマーが設定され、液晶モニターや液晶パネルに ⏱ マークが表示されます。

❸**レリーズボタンを押して撮影します。**
セルフタイマーランプが点滅し、約10秒後にシャッターが切れます。

再生する

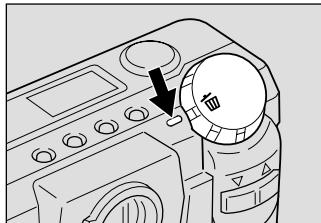
ファイルを再生する →P.83〜84

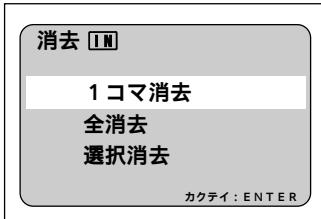
❶**電源スイッチをスライドし、モードダイヤルを［▶］に合わせます。**

❷**▼ボタンや▲ボタンを押してファイルを選択します。**

＊ズーム再生や分割再生機能を使うと、拡大表示したり、複数ファイルを一度に表示できます。→P.85、P.86

消去する

ファイルを消去する　→P.96〜100

❶電源スイッチをスライドし、モードダイヤルを［ ］に合わせます。

❷▼ボタンや▲ボタンを押して消去方法を選び、ENTERボタンを押します。

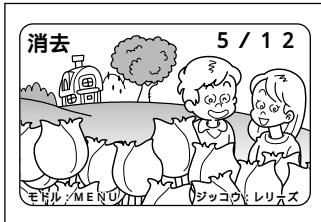
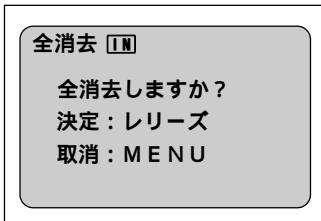
＊消去したファイルは復元できません。
　ファイルの内容を確認してから消去してください。

［１コマ消去］を選択した場合

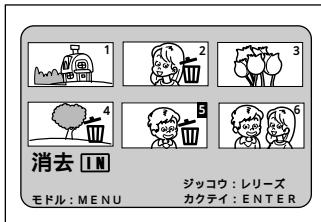
❸▼ボタンや▲ボタンを押してファイルを選び、レリーズボタンを押します。

［全消去］を選択した場合

❸レリーズボタンを押します。

全消去 IN

全消去しますか？
決定：レリーズ
取消：MENU

［選択消去］を選択した場合

❸▼ボタンや▲ボタンを押してファイルを選び、ENTERボタンを押します。
手順❸を繰り返して消去するファイルを選びます。また、消去を解除するときは、もう一度ENTERボタンを押します。
❹レリーズボタンを押します。

安全上のご注意

表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

記号は禁止の行為であることを告げるものです。
の中に具体的な禁止内容が描かれています。

●表示例

 意味：接触禁止 **意味：分解禁止**

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠警告

●万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態がみられる場合は、すぐに電源を切ってください。感電や火傷に注意しながら速やかに電池を取り外してください。家庭用コンセントから電源を供給しているときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そしてサービス実施店に連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けないでください。

⚠警告

●万一、機械内部に異物（金属、水、液体など）が入った場合は、すぐに電源を切ってください。感電や火傷に注意しながら速やかに電池を取り出してください。家庭用コンセントから電源を供給しているときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そしてサービス実施店に連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けないでください。

●液晶モニターが破損した場合、中の液晶には十分注意してください。万一、次の状況になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合は、付着物を拭き取り、水を流しせっけんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、最低15分洗浄した後、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合は、水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を与えて吐き出させた後、医師の手当てを受けてください。

●電池の液漏れ、発熱、発火、破裂の防止のため、次のことをお守りください。

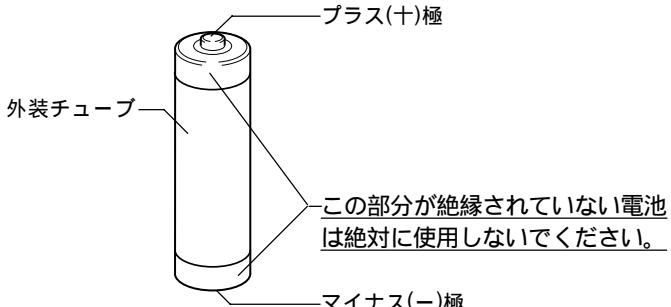
- この製品で指定している電池以外は、使用しないでください。
- 電池は、火の中に入れたり、ショート、分解、加熱、充電しないでください。（ニカド電池、ニッケル水素電池は充電可能）
- 形式･銘柄の異なる電池、メーカーの異なる電池、古い電池と新しい電池など、電池を混用しないでください。
- 電池の＋極と－極の向きを正しくセットしてください。
- 電池をハンダ付けしないでください。

●充電可能な電池をお使いになるときは、他の充電式電池との混用や充電状態の異なる電池との混用はしないでください。

（次ページにつづく）

⚠警告

次のような状態の電池は液漏れ、発熱、発火、破裂、ショートの原因となりますので、絶対に使用しないでください。

●マイナス（ー）極周辺が絶縁されていない電池は、絶対に使用しないでください。

●外装チューブの破れた電池、外装チューブのはがれた電池は、絶対に使用しないでください。

● この製品で使用している電池を誤って飲み込むことがないよう、特に幼児・子供の手の届かないところに置いてください。万一飲み込んだ場合は、人体に有害です。直ちに医師と相談してください。

● この製品を幼児・子供の手の届く範囲に放置しないでください。幼児・子供には「安全上のご注意」や「使用上のご注意」の内容が理解できずに事故発生の原因となります。

● 落下や損傷により内部が露出したときは、内部には手を触れないでください。内部には高圧電流回路があり、感電する危険性があります。感電や火傷に注意しながら速やかに電池を取り出してください。破損したときは、お買い上げの店またはサービス実施店にお持ちください。

● 自分でカメラを分解、修理、改造しないでください。内部には高圧電流回路があり、感電する危険があります。

● 風呂場では使用しないでください。火災や感電の原因となります。

⚠警告

- 引火性ガスやガソリン、ベンジン、シンナー等の近くで使用しないでください。爆発や火災、火傷の原因となります。
- 航空機の中など、使用が制限または禁止されている場所では使用しないでください。事故等の原因となります。

- 電源プラグにほこりが付着している場合は、よくふいてください。火災の原因となります。
- 家庭用コンセントをご利用になるときは、必ず専用のＡＣアダプター（型名：AC-2、AC-2100<別売り>）をご利用ください。指定以外のＡＣアダプターでは、火災・感電・故障の原因になります。

- 海外旅行者用として市販されている「電子式変圧器」などにＡＣアダプターを接続しないでください。火災・感電・故障の原因になります。

（次ページにつづく）

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠注意	

●電池から漏れた液が肌に触れると、火傷の原因になります。破損した電池に触れた場合は、すぐに水で洗い流してください。（せっけんは使用しないでください）
また、液漏れが起こったときは、液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

●電源プラグは、コンセントに確実に差し込んでください。火災の原因となります。

●カメラを濡らさないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。

●車両（自転車、車、列車等）の運転者に向けてフラッシュを発光しないでください。交通事故等の原因となります。

●火災や感電防止のため、金属製のピンセットなどで電池をつかまないでください。ショートすることがあります。

別売り品について

・リモートコントローラーやACアダプターなど別売り品をお使いになるときには、各製品に付属の説明書の「安全上のご注意」を操作の前に必ずお読みください。